

# 第9回鳥山ご近所落語会

◎出演者プロフィール◎



## 落語 古今亭菊千代

ここんてい きくちよ

1956年、東京都板橋区出身。

昭和59年、古今亭円菊 門下に入門、平成5年に先輩の三遊亭歌る多と共に女性初の真打に昇進。以降、本来の寄席やホール、各落語会の出演のほか、手話と一緒に楽しむ落語、朝鮮・韓国語での落語、新作、自作品、エッセイ、また、南米など海外の日系の方々の前でも多数口演。東京拘置所では篤志面接委員理事として受刑者対象に話し方教室、講演では「落語界楽屋話・男女共同参画・人権・平和・矯正・手話活動」などをテーマに各地を奔走中。平成22年は噺家生活25周年として東海道五十三カ所落語会を計画。震災後は被災地への支援寄席を積極的に開催。著書に「古今亭菊千代噺家です」日本出版、『体験・子ども寄席』全5巻[現在2巻まで出版]偕成社。

## 粹曲 檜山うめ吉

ひやま うめきち

落語芸術協会所属の俗曲師。岡山県倉敷市出身。1991年から国立劇場研修生として寄席囃子を学び、1993年に落語芸術協会に入会、お囃子として活動の後、檜山さくらに師事して端唄を習得。2000年から檜山うめ吉として俗曲師の活動を開始した。

久々の若手俗曲師の出現として注目を集め、寄席の高座やお座敷のほか、自己のグループ「あてもと社中」ダンサー「ことぶきシスターズ」を率いてのコンサート、イベント等にも精力的に出演。2006年SXSWを皮切りに五都市八箇所の全米ツアーやフジロックフェスティバル等にも出演、話題となる。

